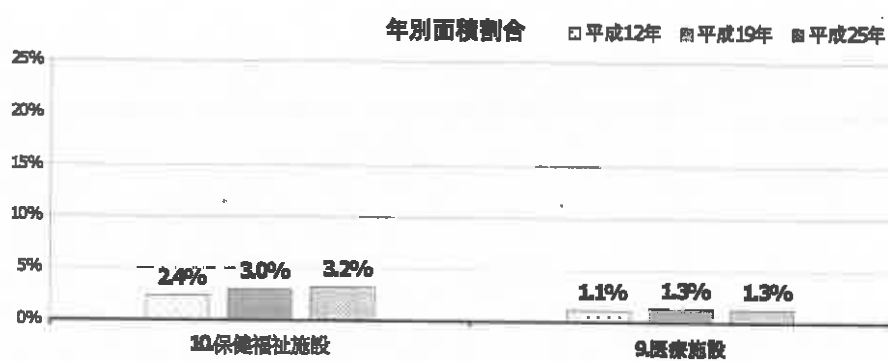
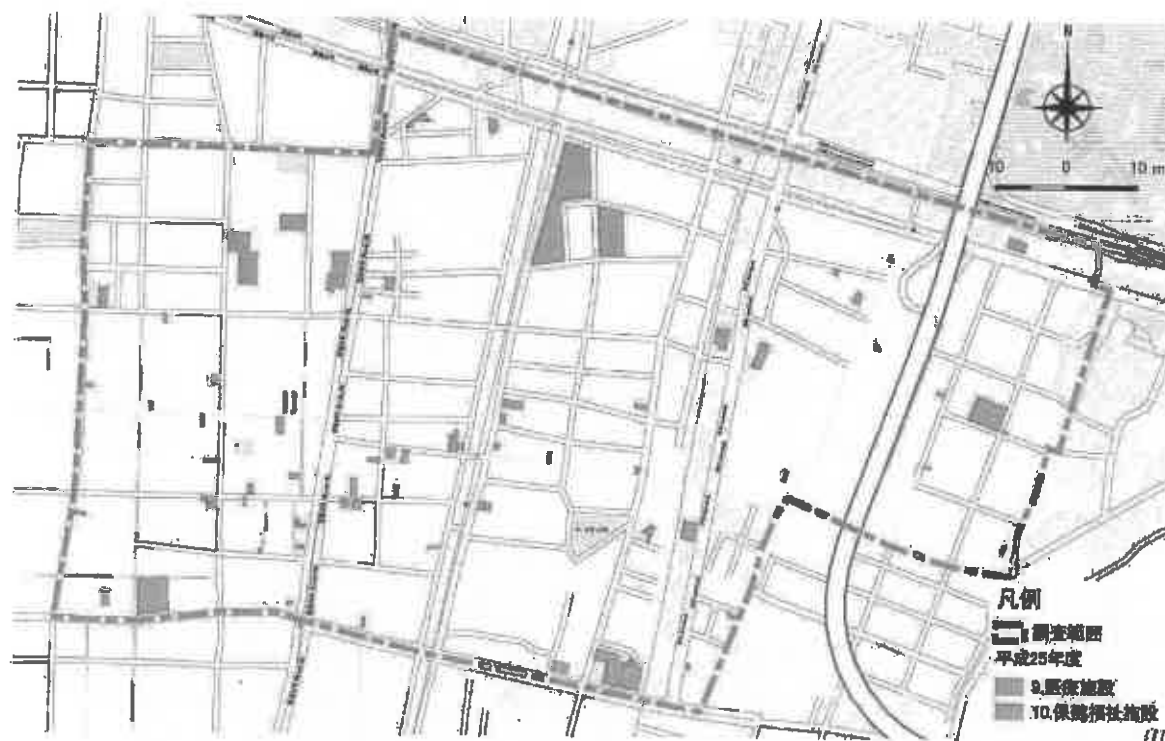
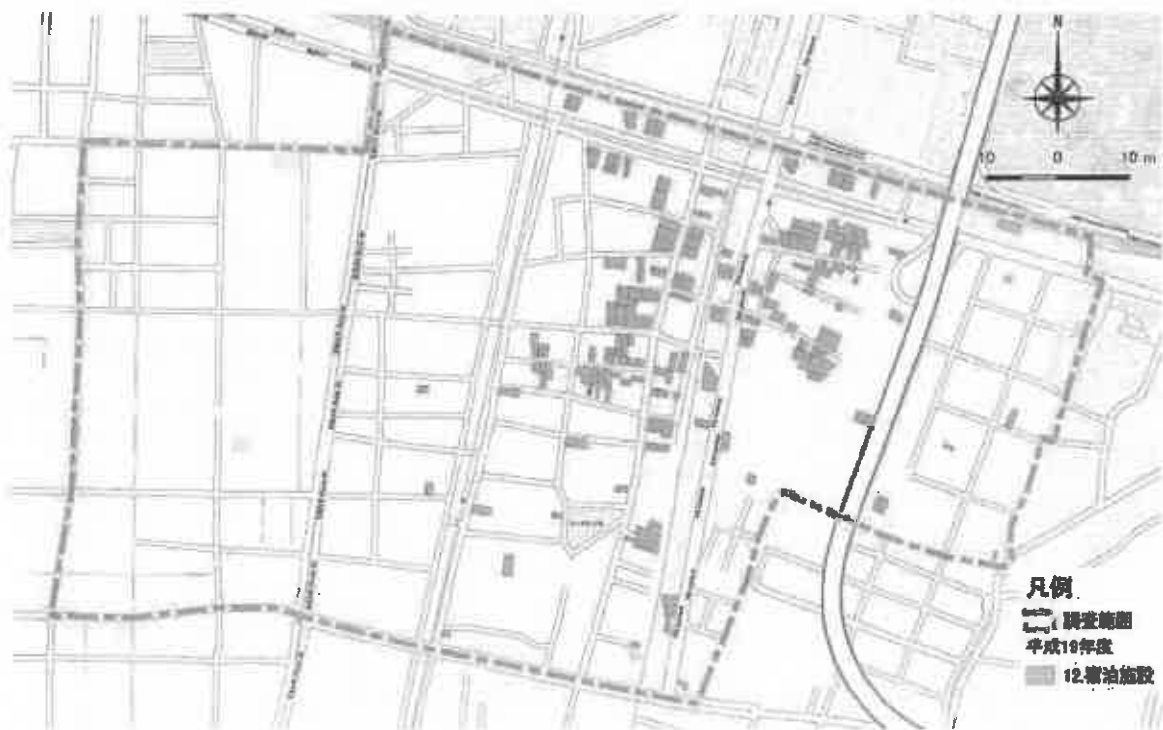
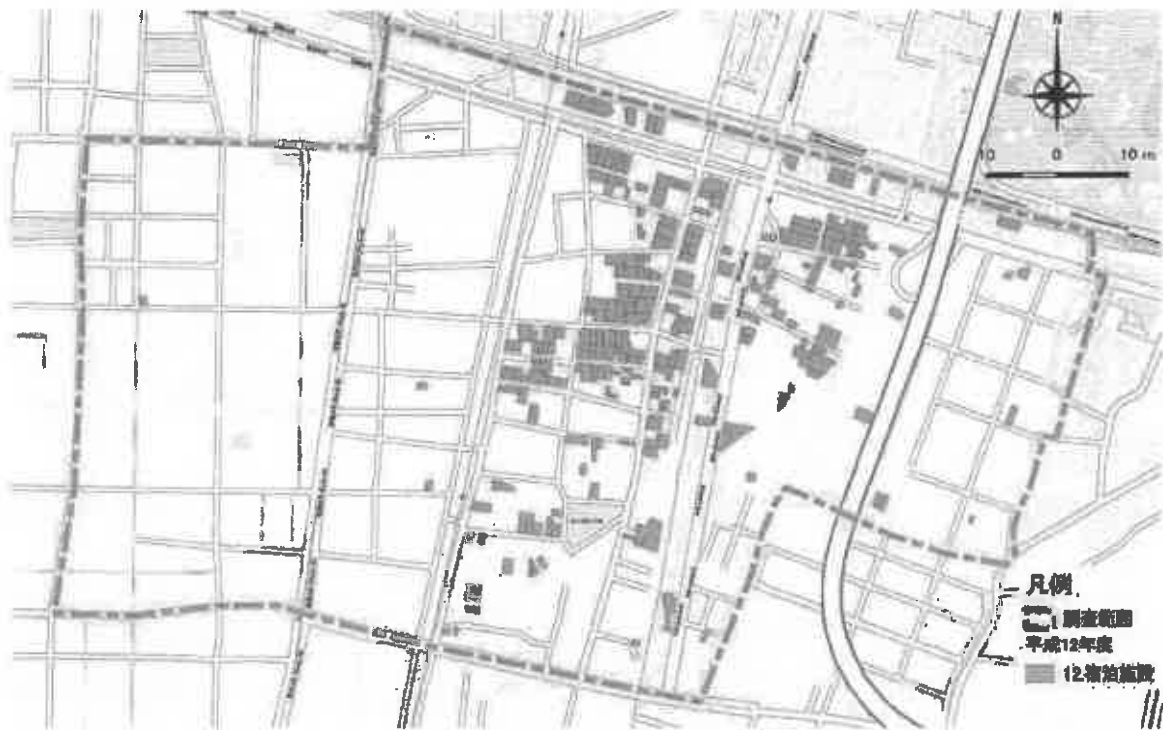
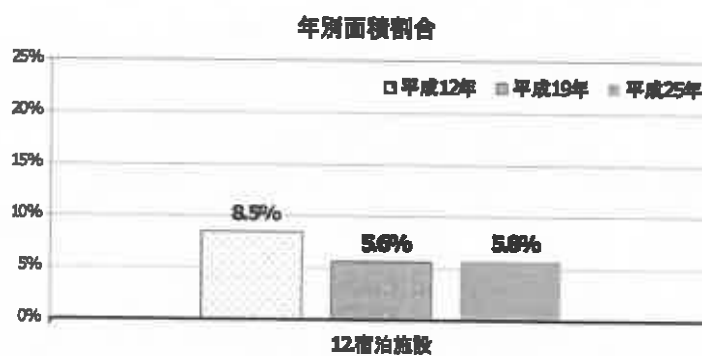
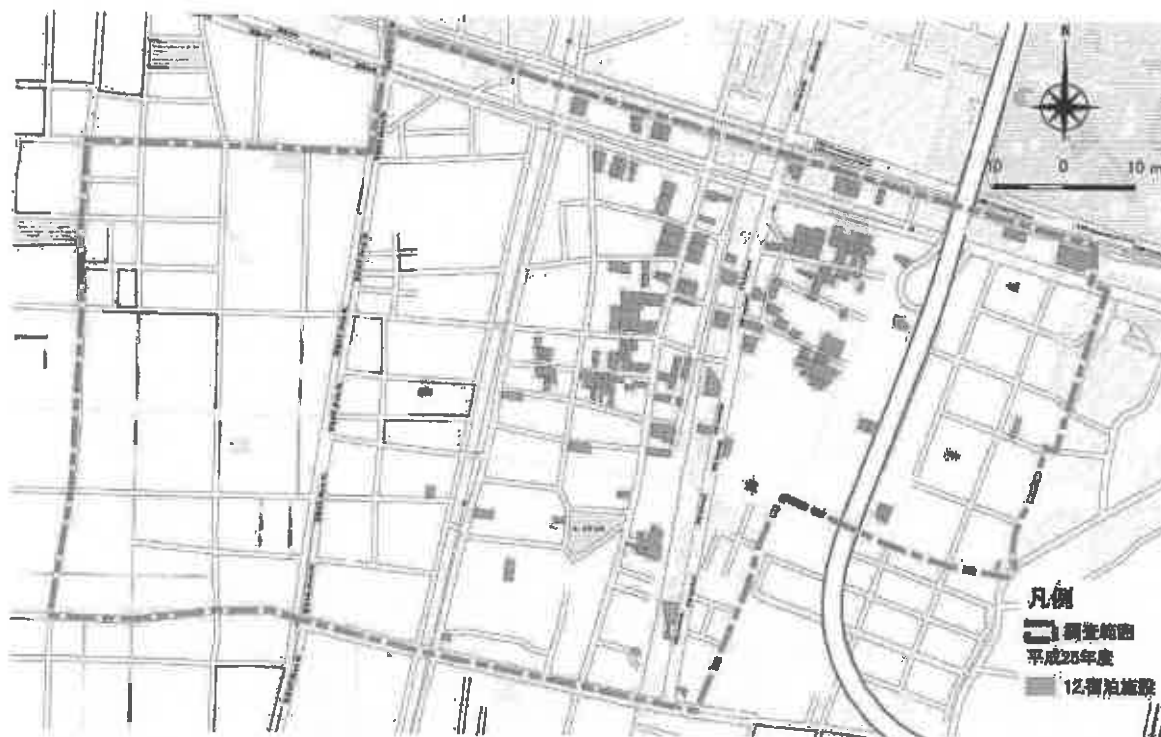




- ・ 地域内の医療施設、保健福祉施設の占める面積は、H12年からH25年の期間では若干の増加を示している。

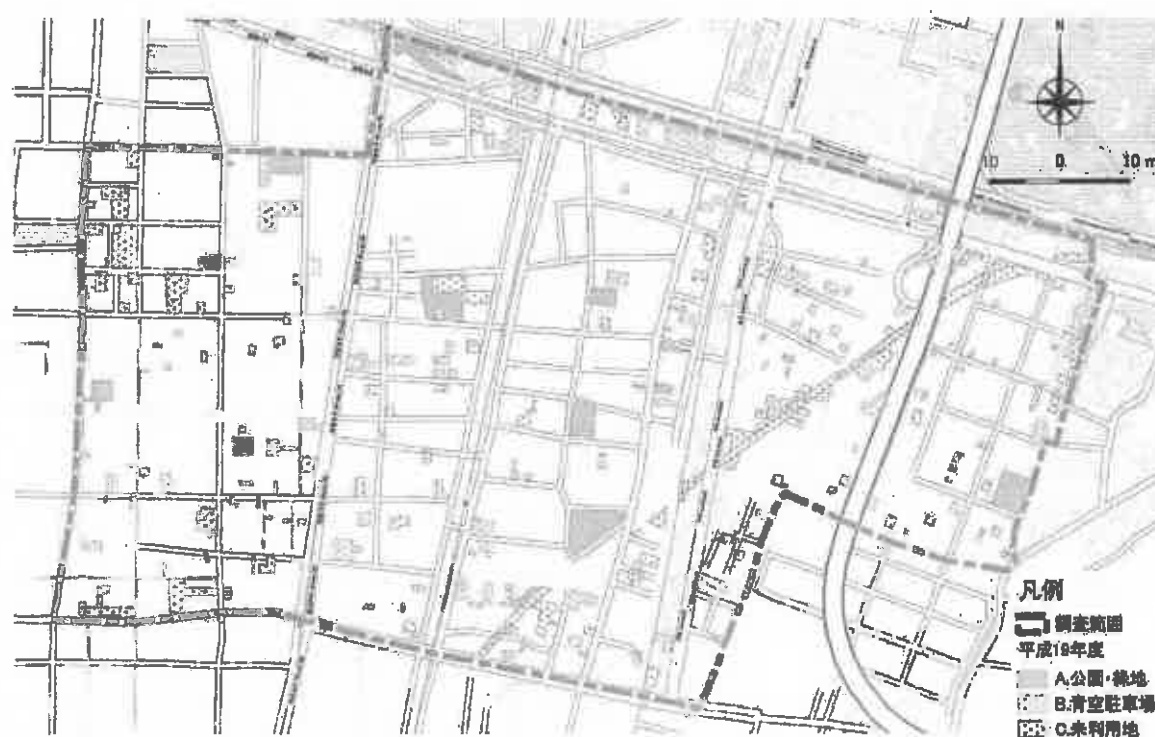
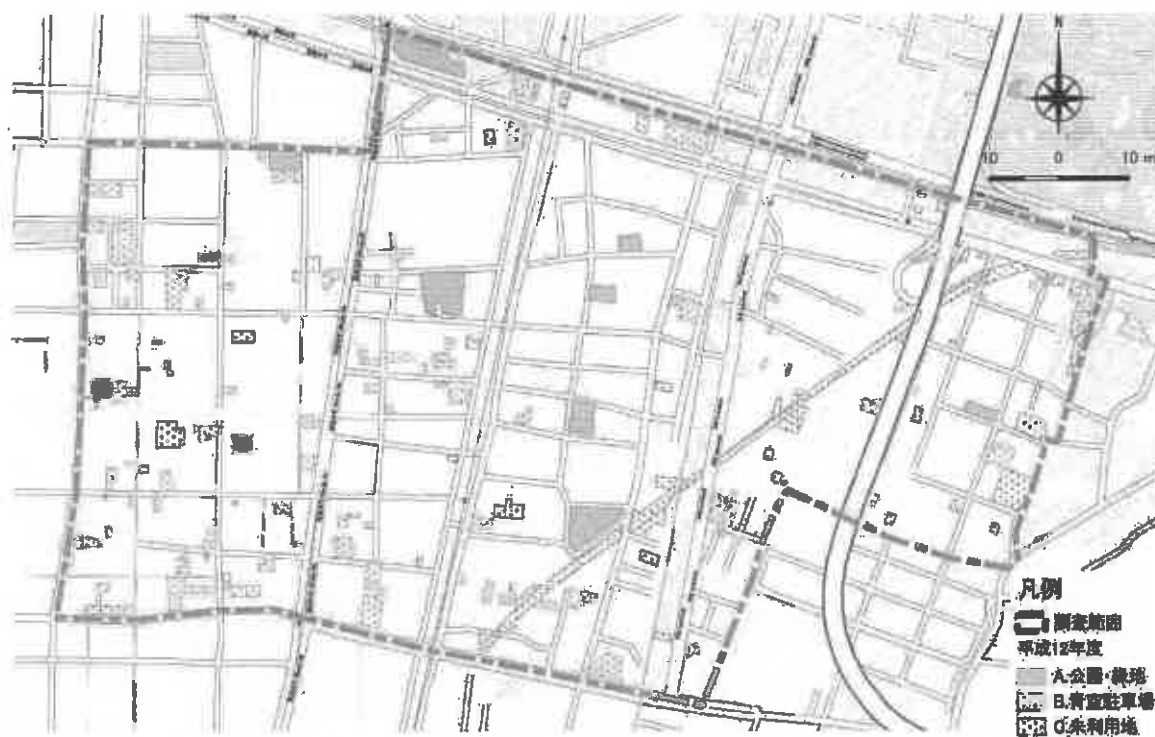
(9) 用途分類別プロット図(宿泊施設)

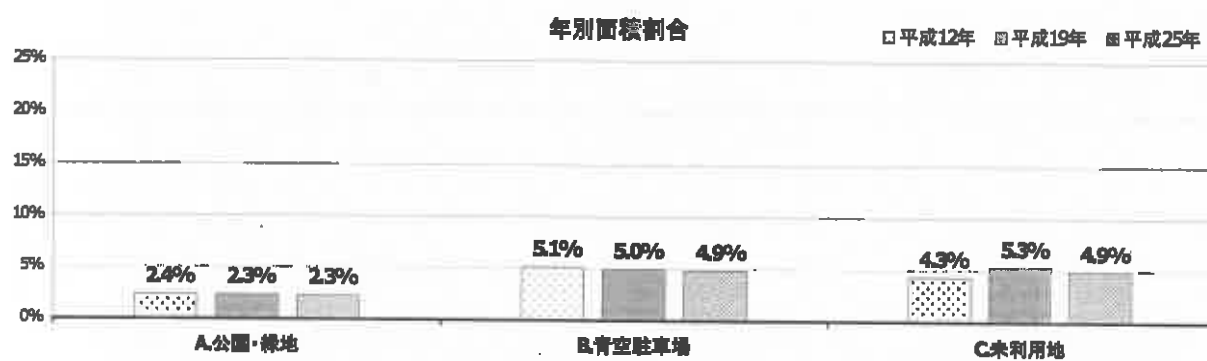
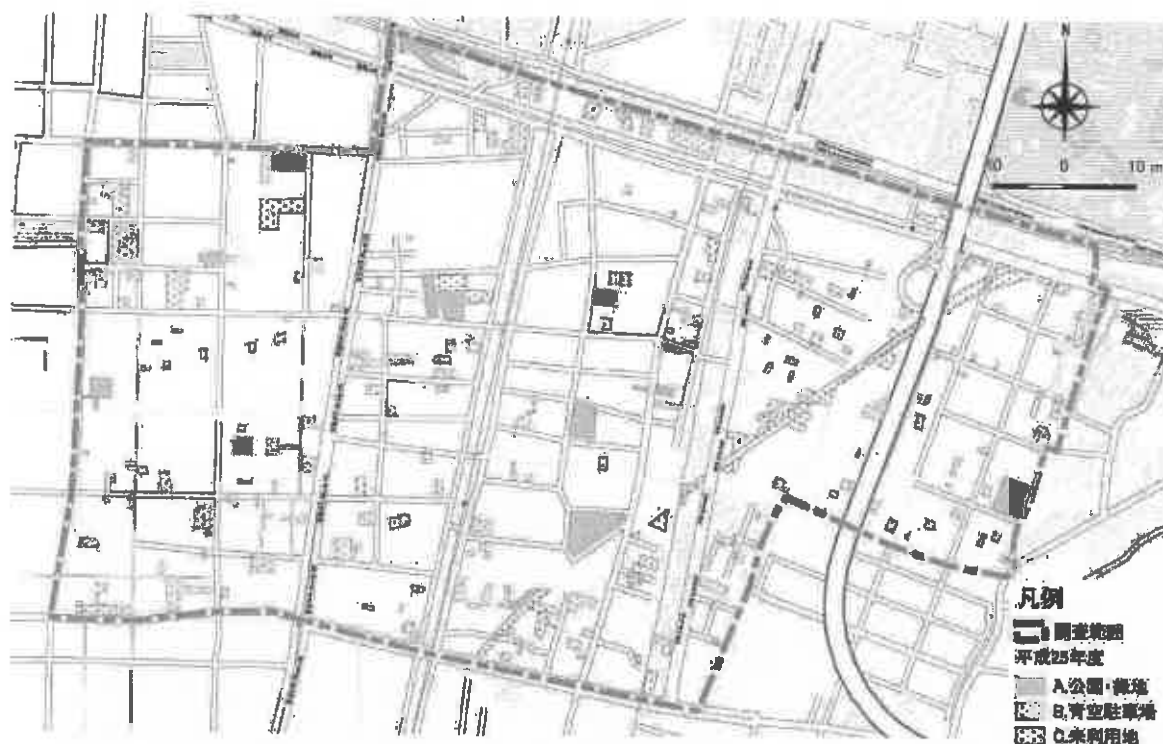




- ・ 地域内の宿泊施設の占める面積は、H2年からH9年にかけて減少(△2.9%)を示し、宿泊施設が共同住宅に転用されていることがわかる。

(10) 用途分類別プロット図(公園・緑地、青空駐車場、未利用地)





- ・ 地域内の公園・緑地、青空駐車場の占める面積は、H12年からH25年の期間では大きな変化はない。
- ・ 地域内の未利用地の占める面積は、H12年からH25年の期間では若干増加しており、南海天王寺支線の廃線跡周辺や住宅地に細分化された未利用地が増加している。

3. 居場所などの交流拠点の立地

まちづくりビジョンの策定と実態調査に向けた会議等で、居場所や地域交流拠点として活用されている施設を整理した。詳しい利用実態については、アンケート調査を実施し把握する。

●アンケート調査票に記載の居場所リスト

- a 自分の居所・自宅 b 友人・知人の家 c あいりん総合センター3階・倶楽室
 d あいりん総合センター1階・3階の寄り場 e ふるさとの家 f 三徳寮談話室
 g シェルター居場所棟（禁酒の館） h 西成市民館 i 新今宮文庫 j 図書館 k 喫茶店
 l 公園 m NPO や支援団体の事務所 n 労働団体事務所 o 宗教関係施設
 p スーパー・コンビニなど q 居酒屋 r パチンコ屋 s 競艇や競輪（場外売り場を含む）

●あいりん地域周辺の居場所プロット図(調査用MAP)



4. 他地域のまちづくりに関する参考事例

今後のまちづくり検討の参考事例として、「駅前施設」「駅前広場の活用」「空き家の活用」について全国の一般的な事例として整理した。調査結果や委員等の意見を踏まえ、まちづくりビジョンの作成に反映していく。

●駅前施設事例 用途別

用途分類	事 例		
	写真	施設概要	
商業施設	都市型商業施設	 ※出典：ヒューリック株式会社 IP	『HICC & New SHIBA』 場所：東京都渋谷区(渋谷駅) 階数：地上 10 階/地下 2 階 内容：商業施設(テナント 11 店舗)
	ショッピングモール	 ※出典：もりのみやキューズモール IP	『もりのみやキューズモール BASE』 場所：大阪市中央区(森ノ宮駅) 階数：地上 3 階 内容：商業施設(49 店舗) ランニングトラック イベントスペース
	スーパー・市場	 ※出典：日本食糧新聞電子版	『ライフ堺駅前店』 場所：大阪府堺市(堺駅) 階数：地上 2 階 内容：スーパー
	アミューズメント施設	 ※出典：ラウンドワン IP	『ラウンドワンスタジアム 堺駅前店』 場所：大阪府堺市(堺駅) 内容：総合アミューズメント施設

商業施設	オフィス	 ※出典：ダイビル EP	『ヒューリック難波ビル』 場所：大阪市浪速区(なんば駅) 階数：地上 14 階/地下 2 階 内容：オフィスビル
スポーツ施設	競技場	 ※出典：キャプテン翼スタジアム EP	『キャプテン翼スタジアム天王寺』 場所：大阪市天王寺区(天王寺駅) 内容：屋外フットサルコート
住宅	マンション	 ※出典：SUND物件ライブラリー EP	エスリード西田辺駅前 場所：大阪市阿倍野区(西田辺駅) 階数：地上 15 階/地下 1 階 内容：共同住宅(56 戸)
文化施設	図書館	 ※出典：吹田市 EP	『吹田市立山田駅前図書館』 子育て青少年拠点 夢つながり未来館 (ゆいびあ) 場所：大阪府吹田市(山田駅) 階数：地上 15 階/地下 1 階 内容：青少年支援、子育て支援、図書館
	ホール	 ※出典：Zepp 大阪 EP	『Zepp なんば大阪』 場所：大阪市浪速区(なんば駅) 階数：地上 2 階 内容：ライブハウス (座席数 1, 206)

ホテル・旅館	ホテル	 ※出典：スーパーホテル HP	『スーパーホテルなんば・日本橋』 場所：大阪市中央区(日本橋駅) 階数：地上 10 階 内容：ホテル
公共施設	行政窓口	 ※出典：大阪市 HP	『大阪市東淀川区役所・出張所』 場所：大阪市東淀川区(淡路駅) 内容：行政窓口
	観光施設	 ※出典：ふくい Gty ナビ HP	『ウェルカムセンター』 場所：福井県福井市(福井駅) 内容：福井市観光案内所
教育施設	大学サテライト	 ※出典：同志社大学 HP	『同志社大学 大阪サテライトキャンパス』 場所：大阪市北区(大阪駅) 内容：教育研究活動の拠点
医療・福祉施設	介護施設	 ※出典：コミュニケア 24HP	『コンシェール阿倍野』 場所：大阪市阿倍野区(大阪阿部野橋駅) 階数：地上 8 階 内容：介護付有料老人ホーム

交通施設	バスターミナル・デッキ・パーキング	 ※出典：JR西日本 IP	『大阪駅南広場』 場所：大阪市北区(大阪駅) 内容：バスターミナル・タクシー乗車場 歩道橋(デッキ)
公園・広場	駅前広場	 ※出典：茨木市 IP	『茨木駅東口駅前広場』 場所：大阪府茨木市(茨木駅) 内容：イベントスペース
	屋内広場	 ※出典：ぐるっこ神戸 IP	『あかし市民広場』 場所：兵庫県明石市(明石駅) 内容：イベントスペース
	駅前ステージ	 ※出典：コロカルマガジンハウス IP	『天理駅前広場コフフン』 場所：奈良県天理市(天理駅) 内容：イベントステージ

● 駅前広場活用事例事例

	事例		
	活動名(広場名)	写真	概要
屋外広場	芦原橋 アップマーケット 大阪市浪速区	 ※出典：大阪市 EP  ※出典：OSAKINO EP	【主催】 ・芦原橋地域再生協議会 【目的】 ・都心立地を活かして、住みたい。住み続けたい地域をめざす。 【内容】 ・毎月1回のマーケットを開催。 ・皮革製品を中心としたクラフトや手しごと、オーガニックやこだわりフード、商品のマーケット。 【その他】 ・浪速区の新しい魅力!!「イベント得区(とつく)」事業
	姫路駅北駅前広場 兵庫県姫路市	  ※出典：全国まちなか広場研究会 EP	【運営】 ・(一社)ひとネットワークひめじ 【目的】 ・市民にくつろぎとにぎわいの空間を提供し、市民相互の交流と中心市街地の活性化を図る。 【内容】 ・交流広場、親水空間、ステージほか 【その他】 ・公共スペースのデザインを市民とのワークショップを重ね実現

屋外広場	高円寺フェス 高円寺駅前北口広場 東京都杉並区	  ※出典：高円寺フェス 2017EP	【主催】 ・高円寺フェス実行委員会 【目的】 ・地域、商店街の活性化 ・地域の魅力向上の取り組み ・個性的なまちづくり 【内容】 ・高円寺4大祭りのひとつ ・ライブ&パフォーマンス
	天理駅前広場コフフン (C o F u F u n) 奈良県天理市	   ※出典：奈良県 EP	【運営】 ・天理市 【目的】 ・天理市の「歴史」「地理」「文化」という3つの要素を凝縮 ・まちの元気をつなぐ、にぎわいづくりの拠点 【内容】 ・野外ステージ、カフェ、観光案内 ・子どもも大人も楽しめる遊具ほか ・地域交流の場
	福岡よかもん市場 ～博多駅前店～ 福岡県博多市	 ※出典：福岡県観光情報EP	【主催】 ・（公財）福岡県中小企業振興センター 【目的】 ・公的機関が運営する、福岡をはじめとする九州の企業が出店するショッピングイベント、サイトを運営 【内容】 ・福岡・九州の美味しい農産物・海産物・スイーツ・お酒などを販売

屋外広場	市駅グリーングリーンプロジェクト 和歌山県和歌山市	 ※出典：和歌山経済新聞 EP	【運営】 ・市駅まちづくり実行会議 【目的】 ・駅前に潤いと賑わいを生むまちづくり 【内容】 ・市駅周辺の魅力を皆で拾い集める ・芝生で緑の潤いを生み出す ・社会実験
	三軒寺前広場 兵庫県伊丹市	 ※出典：全国まちなか広場研究会 EP	【運営】 ・伊丹市 【目的】 ・にぎわいがあり、市民が集える広場 【内容】 ・イタミ朝マルシェ、屋台村、フリマ
	ペDESTリアンデッキ 広場 愛知県豊田市	 ※出典：全国まちなか広場研究会 EP	【運営】 ・豊田市 【目的】 ・とよたのまちなかを本気であそぶ、つかいこなす！ 【内容】 ・パブリックビューイング、盆踊り

●密集地の空き家活用事例

用途分類	事 例	
	写真	概要
商業・店舗	 ※出典：からほり長屋再生複合ショップ IP	『からほり長屋再生複合ショップ 惣』 場所：大阪市中央区 規模：木造2階建 内容：サブリース手法を活用した店舗の開設
商店街の 地域拠点サロン	 ※出典：NFO法人エフ・エーIP	『エフ・エーサロン』 場所：大阪市阿倍野区 規模：木造2階建 内容：だれでも気軽に立ち寄って、楽しくおしゃべりをしたり、ゆっくりとくつろいでいただける憩いの場
デイサービス	 ※出典：NFO法人エフ・エーIP	『よってこサロン』 場所：大阪市阿倍野区 規模：木造2階建 内容：デイサービスを併設したサロン
知的障害者 生活介護施設	 ※出典：アトリエコーナス IP	『アトリエコーナス』 場所：大阪市阿倍野区 規模：木造2階建 内容：障害者の母親たちによって設立された知的障害者の生活介護施設
ゲストハウス	 ※出典：ゲストハウスおどり IP	『ゲストハウスおどり』 場所：大阪市阿倍野区 規模：木造2階建 内容：日本の家の良さを楽しめるゲストハウス

シェアハウス	 ※出典：SIMOジャーナル IP	『ゲストハウスおどり』 場所：東京都豊島区 規模：木造2階建 内容：入居予定者がリノベーション作業に参加するシェアハウス
ポケットパーク	 ※出典：神戸市 IP	『まちなか防災空地整備事業』 場所：兵庫県神戸市 内容：密集市街地において火災などの延焼を防止するスペースを確保

第4章 今後のまちづくりの方向性の検討にかかる具体化

1. まちづくりの方向性の検討にかかる調査及び検討の概要

まちづくりを推進する上でデータ等の整理・分析を行いながら、今後具体的な検討が必要と想定される項目についての検討支援を行った。

なお、調査検討内容は以下の通りである

①地域施設回遊性向上に資するネットワークなど駅前活性化にかかる検討

⇒調査により駅前に必要とする施設や改善方針のニーズを把握し、整理

②今後のまちづくりの方向性（素案）の検討

⇒調査により、これまでの取り組みの成果の整理、今後のまちづくりで重要になるキーワード等を整理

③まちづくりにかかる事業スキームの検討

⇒①②の検討及び、関係団体や有識者等の意見を踏まえ、まちづくりビジョンの策定に向けたスキームを提案

(1) ヒアリング及びアンケート調査の概要

【調査の目的】

1. 西成特区構想が示されて以降5年間の各事業検証とまちの変化について、地域の方々の意識や意向を把握する。
2. 今後のあいりん地域及び周辺地域におけるまちづくりビジョンを策定するために、地域で暮らしている方々のニーズや意向を把握する。
3. 基礎資料調査では顕在化されにくい、地域の様々な属性が個々に抱える状態や問題、課題、意向を丁寧に把握することを目指し、地域で行われている他の調査実施者と連携を図り実施する。

【調査の体制】

まちづくりビジョン策定調査委員会を立ち上げ、有識者及び委員、行政等が調査内容やスケジュール等の調整を行いながら具体的な実施方針を検討した。

実施体制については、有識者及びコンサルタントが事務局機能を担い、調査内容に合わせて委員や地域団体、学生スタッフとの連携を図りながら調査を実施した。また、地域で行われている他の調査実施者とも連携を図り実施した。

【調査票の作成及び実施手法】

調査票は、「まちづくりビジョン策定に向けた調査票」と「各属性に合わせた調査票」を作成し実施した。また、実施手法については、対象者の属性に合わせて適宜効果的な手法（アンケート、ヒアリング等）を検討し実施した。

なお、各属性の調査実施概要は以下の通りである

記号	調査対象の属性	調査内容		実施エリアと調査手法	調査期間
		ビジョン調査	まちづくり 属性別調査		
A	町会・住民	● 70件	—	【実施エリア】 ・あいりん地域及び周辺町会 【手法】 ・アンケート配布のうえ後日回収 ・個別(少人数)ヒアリング ※町会希望により数地域では説明会を実施	2～3月
B	労働者	● 111件	—	【実施エリア】 ・あいりん労働福祉センター ・夜間シェルター ・あいりん地域内協力事業所 など 【手法】 ・個別(少人数)ヒアリング	10～12月
C	商店街・店舗	● 28件	● 27件	【実施エリア】 ・あいりん地域及び周辺商店街 【手法】 ・アンケート配布のうえ後日回収 ・個別ヒアリング	2～3月
D	ケースワーカー	● 163件	● 164件	【実施エリア】 ・西成区内全域 【手法】 ・アンケート配布のうえ後日回収	11月
E	被保護者	● 16件	● 19件	【実施エリア】 ・西成区内全域 【手法】 ・個別ヒアリング	3月
F	簡易宿所	● 9件	● 13件	【実施エリア】 ・あいりん地域内簡易宿所 【手法】 ・少人数ヒアリング	10月
G	シェルター利用者	—	● 25件	【実施エリア】 ・夜間シェルター 【手法】 ・個別ヒアリング	2月

2. まちづくりビジョン調査の結果・分析

・有効回答者数：397件（A: 70件、B: 111件、C: 28件、D: 163件、E: 16件、F: 9件）

（1）まちの現状と今後について

〈単一回答〉	A. 町会・住民		B. 労働者		C. 商店街		D. ケースワーカー		E. 無保護者		F. 簡易宿泊オーナー	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
①このままでは良くない	29	41.4%	71	64.0%	18	64.3%	93	57.1%	7	43.8%	7	77.8%
②このままで良い	8	11.4%	27	24.3%	2	7.1%	4	2.5%	4	25.0%	1	11.1%
③わからぬ	5	7.1%	11	9.9%	5	17.9%	36	22.1%	3	18.8%	1	11.1%
無回答	28	40.1%	2	1.8%	3	10.7%	30	18.3%	2	12.4%	0	0.0%
有効回答者数	70		111		28		163		16		9	

- ・ まちの現状については、各属性とも「このままでは良くない」（41.4%～77.8%）が高く、「このままで良い」（2.5%～25.0%）が低くなっている。
- ・ 町会・住民やケースワーカー、被保護者は「わからない」や「無回答」の回答が高くなっている。
- 全体的には、まちの現状をみて変えていきたい意向が高いが、各属性により関心の強弱がある。

(2) 5~10年前と比べ、まちはどう変わったと感じるか

①ごみの不法投棄問題・まちの美化

	＜単一回答＞	A.町交・住持	B.労働者	C.店員	D.ケースワーカー	E.市民連合	F.町民会館アンケート	
1.良くなった	25	35.7%	68	59.5%	31	19.0%	3	50.0%
2.少し良くなった	21	30.0%	25	22.5%	66	40.5%	3	18.8%
3.少し悪化	4	5.7%	2	1.8%	0	0.0%	0	0.0%
4.悪化した	4	5.7%	1	0.9%	2	1.2%	1	6.3%
5.変わらない	1	1.4%	8	7.2%	14	8.6%	2	12.5%
6.どちらともいえない	2	2.9%	0	0.0%	8	4.9%	0	0.0%
7.わからない	1	1.4%	5	4.5%	31	19.0%	0	0.0%
無回答	12	17.2%	4	3.6%	11	6.8%	2	12.4%
有効回答数	70		111	23	183	10	9	

②いまみやハ中一貫校の通学路の整備

[illegible]

③ 駐輪場や自転車の管理

＜単一回答＞	A. 割合・性別	B. 年齢層	C. 商店街	D. ケースワーカー	E. 世帯数	F. 問題箇所	G. その他
1. 良くなった	8 11.4%	61 55.0%	5 12.5%	26 16.0%	7 43.8%	2 22.2%	
2. 少し良くなった	13 18.6%	19 17.1%	10 35.7%	48 29.4%	3 18.8%	4 44.4%	
3. 少し悪化	4 5.7%	3 2.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 33.4%	
4. 悪化した	1 1.4%	1 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	2 12.5%	0 0.0%	
5. 変わらない	14 20.0%	14 12.6%	2 7.1%	17 10.4%	1 6.3%	0 0.0%	
6. どちらともいえない	5 7.1%	2 1.8%	2 7.1%	10 6.1%	0 0.0%	0 0.0%	
7. わからない	1 1.4%	7 6.3%	4 14.3%	47 28.6%	1 6.3%	0 0.0%	
無回答	24 34.4%	4 3.6%	5 17.9%	15 9.3%	2 12.3%	0 0.0%	
有効回答者数	70	111	28	163	16	9	

- 「①ごみの不法投棄問題・まちの美化」「②いまや小中一貫校の通学路の整備」「③駐輪場や駐車場の整備」は、否定的な評価は少なく、一定の評価が得られていることがわかる。

第4章 今後のまちづくりの方向性の検討にかかる具体化

(4)公園の環境・利用しやすさ

	A. 町会・住民		B. 労働者		C. 商店街		D. ケースワーカー		E. 被保護者		F. 簡易宿所オーナー	
〈単一回答〉	16	4.3%	17	14.4%	2	7.1%	7	4.3%	1	6.3%	1	11.1%
1.良くなった	3	4.3%	8	11.4%	3	10.7%	29	17.8%	2	12.5%	1	11.1%
2.少し良くなった	3	4.3%	3	2.7%	1	3.6%	1	0.6%	0	0.0%	6	66.7%
3.少し悪化	3	4.3%	8	7.2%	1	3.6%	2	1.2%	1	6.3%	0	0.0%
4.悪化した	15	21.4%	38	34.2%	7	25.0%	48	29.4%	2	12.5%	0	0.0%
5.変わらない	2	2.9%	4	3.6%	1	3.6%	15	9.2%	0	0.0%	0	0.0%
6.どちらともいえない	5	7.1%	21	18.9%	7	25.0%	47	28.8%	8	50.0%	0	0.0%
7.わからない	31	44.3%	4	3.7%	6	21.4%	14	8.7%	2	12.4%	1	11.1%
無回答	70		111		28		163		16		9	
有効回答者数												

(5)まちの「緑」や「憩いの場」の充実

	A. 町会・住民		B. 労働者		C. 商店街		D. ケースワーカー		E. 被保護者		F. 簡易宿所オーナー	
〈単一回答〉	16	4.3%	8	14.4%	2	7.1%	4	2.5%	2	12.5%	1	11.1%
1.良くなった	3	4.3%	5	7.1%	4	14.3%	37	22.7%	0	0.0%	0	0.0%
2.少し良くなった	4	5.7%	3	2.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.3%	7	7.8%
3.少し悪化	0	0.0%	4	3.6%	1	3.6%	1	0.6%	2	12.5%	1	11.1%
4.悪化した	19	27.1%	54	48.6%	7	25.0%	50	30.7%	2	12.5%	0	0.0%
5.変わらない	5	7.1%	5	4.5%	2	7.1%	10	6.1%	0	0.0%	0	0.0%
6.どちらともいえない	2	2.9%	17	15.3%	5	17.9%	46	28.2%	7	43.8%	0	0.0%
7.わからない	32	45.8%	4	3.7%	7	25.0%	15	9.2%	2	12.4%	0	0.0%
無回答	70		111		28		163		16		9	
有効回答者数												

(6)防犯・犯罪抑止(賞せい和・暗博・違法露店等)

	A. 町会・住民		B. 労働者		C. 商店街		D. ケースワーカー		E. 被保護者		F. 簡易宿所オーナー	
〈単一回答〉	8	11.4%	19	54.1%	4	14.3%	10	6.1%	8	50.0%	4	44.4%
1.良くなった	14	20.0%	19	17.1%	11	39.3%	32	19.6%	1	6.3%	5	55.6%
2.少し良くなった	3	4.3%	2	1.8%	0	0.0%	11	6.7%	0	0.0%	0	0.0%
3.少し悪化	1	1.4%	0	0.0%	3	10.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4.悪化した	12	17.1%	12	10.8%	1	3.6%	49	30.1%	2	12.5%	0	0.0%
5.変わらない	0	0.0%	3	2.7%	1	3.6%	19	11.7%	0	0.0%	0	0.0%
6.どちらともいえない	5	7.1%	11	9.9%	2	7.1%	28	17.2%	3	18.8%	0	0.0%
7.わからない	27	38.7%	4	3.6%	6	21.4%	14	8.8%	2	12.4%	0	0.0%
無回答	70		111		28		163		16		9	
有効回答者数												

- 「④公園の環境・利用しやすさ」「⑤まちの緑や憩いの場の充実」では、多くの属性で「変わらない」が高く、簡易宿所オーナーでは「少し悪化」が高くなっており、今後の対策検討が必要となる項目になる。
- 「⑥防犯・犯罪抑止」は「変わらない」という評価が若干あるものの、否定的な評価は少なく、一定の評価が得られていることがわかる。

第4章 今後のまちづくりの方向性の検討にかかる具体化

⑦結核対策(医療と福祉の連携)

〈単一回答〉	人・町会・住民	日・労働者	日・商店街	日・ケースワーカー	日・被保護者	日・簡易宿所オーナー
1.良くなった	8 11.4%	54 48.6%	1 3.0%	24 14.7%	11 68.8%	1 11.1%
2.少し良くなった	4 5.7%	13 11.7%	6 21.4%	67 41.1%	1 6.3%	4 44.4%
3.少し悪化	0 0.0%	3 2.7%	0 0.0%	2 1.2%	0 0.0%	3 33.3%
4.悪化した	1 1.4%	1 0.9%	1 3.6%	3 1.8%	0 0.0%	0 0.0%
5.変わらない	12 17.1%	7 6.3%	2 7.1%	21 12.9%	0 0.0%	0 0.0%
6.どちらともいえない	0 0.0%	2 1.8%	0 0.0%	5 3.1%	1 6.3%	1 11.2%
7.わからない	12 17.1%	27 24.3%	11 39.3%	27 16.6%	1 6.3%	0 0.0%
無回答	33 47.3%	4 3.7%	7 25.0%	14 8.6%	2 12.3%	0 0.0%
有効回答数	70	111	28	163	16	9

⑧日常の買い物や食事のしやすさ

〈単一回答〉	人・町会・住民	日・労働者	日・商店街	日・ケースワーカー	日・被保護者	日・簡易宿所オーナー
1.良くなった	19 27.1%	42 37.8%	1 3.6%	8 4.9%	6 37.5%	1 11.1%
2.少し良くなった	8 11.4%	18 16.2%	2 7.1%	45 27.6%	0 0.0%	3 33.3%
3.少し悪化	6 8.6%	3 2.7%	3 10.7%	2 1.2%	1 6.3%	5 55.6%
4.悪化した	2 2.9%	4 3.6%	3 10.7%	2 1.2%	0 0.0%	0 0.0%
5.変わらない	7 10.0%	31 27.9%	9 32.1%	41 25.2%	4 25.0%	0 0.0%
6.どちらともいえない	2 2.9%	2 1.8%	2 7.1%	9 5.5%	2 12.5%	0 0.0%
7.わからない	0 0.0%	7 6.3%	1 3.6%	41 25.2%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	26 37.1%	4 3.7%	7 25.1%	15 9.2%	3 18.7%	0 0.0%
有効回答数	70	111	28	163	16	9

⑨行政や多様な団体が議論する場が出来る事

〈単一回答〉	人・町会・住民	日・労働者	日・商店街	日・ケースワーカー	日・被保護者	日・簡易宿所オーナー
1.良くなった	8 12.9%	19 17.1%	1 3.6%	7 4.3%	1 6.3%	2 22.2%
2.少し良くなった	15 21.4%	8 7.2%	3 10.7%	38 23.3%	0 0.0%	3 33.3%
3.少し悪化	1 1.4%	0 0.0%	1 3.6%	1 0.6%	1 6.3%	4 44.5%
4.悪化した	0 0.0%	3 2.7%	1 3.6%	2 1.2%	1 6.3%	0 0.0%
5.変わらない	5 7.1%	10 9.0%	4 14.3%	23 14.1%	1 6.3%	0 0.0%
6.どちらともいえない	3 4.3%	4 3.6%	1 3.6%	14 8.6%	0 0.0%	0 0.0%
7.わからない	5 7.1%	63 56.8%	10 35.7%	63 38.7%	9 56.3%	0 0.0%
無回答	32 45.8%	4 3.6%	7 24.9%	15 9.2%	3 18.5%	0 0.0%
有効回答数	70	111	28	163	16	9

- 「⑦結核対策」は、労働者や被保護者とも「良くなった」と高い割合を示しており、成果が現れている。
- 「⑧日常の買い物や食事のしやすさ」は、他と比べ商店街や簡易宿所オーナーでは「変わらない」「悪化」傾向の評価が高く、商売を行っている人にとつては、良くなっているとは感じられない。
- 「⑨行政や多様な団体が議論をする場が出来た事」は「わからない」という回答が高く、議論の見える化に課題があることがわかる。

第4章 今後のまちづくりの方向性の検討にかかる具体化

⑩いまみや小中一貫校が開校した事

	＜単一回答＞	A. 町会・住民	B. 労働者	C. 商店街	D. ケースワーカー	E. 就業者	F. 簡易宿所オーナー
1.良くなった	15	21.4%	40	2	6	6	3
2.少し良くなった	8	11.4%	7	4	38	1	2
3.少し悪化	2	2.9%	4	0	1	0	4
4.悪化した	0	0.0%	2	0	0	0	0
5.変わらない	3	4.3%	5	3	14	0	0
6.どちらともいえない	4	5.7%	5	2	15	0	0
7.わからない	7	10.0%	44	10	74	6	0
無回答	31	44.3%	4	7	15	3	0
有効回答者数	70		111	28	163	16	9

⑪まちのにぎわい・活性化

	＜単一回答＞	A. 町会・住民	B. 労働者	C. 商店街	D. ケースワーカー	E. 就業者	F. 簡易宿所オーナー
1.良くなった	9	12.9%	19	0	3	3	3
2.少し良くなった	7	10.0%	15	2	35	2	1
3.少し悪化	9	12.9%	16	6	9	5	4
4.悪化した	9	12.9%	26	10	5	2	0
5.変わらない	10	14.3%	20	3	46	0	1
6.どちらともいえない	3	4.3%	3	1	11	0	0
7.わからない	0	0.0%	8	1	39	2	0
無回答	23	32.7%	4	5	15	2	0
有効回答者数	70		111	28	163	16	9

⑫まちのイメージ

	＜単一回答＞	A. 町会・住民	B. 労働者	C. 商店街	D. ケースワーカー	E. 就業者	F. 簡易宿所オーナー
1.良くなった	8	11.4%	34	0	3	5	1
2.少し良くなった	12	17.1%	29	7	40	4	5
3.少し悪化	4	5.7%	3	4	1	1	2
4.悪化した	1	1.4%	8	2	4	2	0
5.変わらない	13	18.6%	24	7	63	0	0
6.どちらともいえない	1	1.4%	5	2	12	0	0
7.わからない	2	2.9%	4	0	24	1	1
無回答	29	41.5%	4	6	16	3	0
有効回答者数	70		111	28	163	16	9

➤ 「⑩いまみや小中一貫校が開校した事」は「わからない」の回答が多いものの、簡易宿所オーナーを除けば否定的な評価は少ない。

➤ 「⑪まちのにぎわい・活性化」は、商店街や簡易宿所オーナーでは「悪化」傾向の評価が高く、商店街を行っている人にとっては、良くなっているとは感じられていない。

➤ 「⑫まちのイメージ」は「変わらない」「良い」傾向がどの属性でも高くなっており、様々な取り組みがイメージアップに寄与していると思われる。

第4章 今後のまちづくりの方向性の検討にかかる具体化

⑬高齢者や生保受給者の状況(くらし)

〈単一回答〉	A 町会・住民	B 労働者	C 商店街	D ケースワーカー	E 被保護者	F 簡易宿泊所オーナー
1.良くなった	6 8.6%	17 15.3%	0 0.0%	7 4.3%	2 12.5%	1 11.1%
2.少し良くなった	7 10.0%	10 9.0%	2 7.1%	19 11.7%	1 6.3%	3 33.3%
3.少し悪化	6 8.6%	10 9.0%	6 21.4%	10 6.1%	1 6.3%	2 22.2%
4.悪化した	7 10.0%	22 19.8%	8 28.6%	11 6.7%	0 0.0%	0 0.0%
5.変わらない	10 14.3%	18 16.2%	4 14.3%	58 35.8%	5 31.3%	1 11.1%
6.どちらともいえない	6 8.6%	5 4.5%	1 3.6%	11 6.7%	0 0.0%	2 22.3%
7.わからない	5 7.1%	25 22.5%	2 7.1%	33 20.2%	5 31.3%	0 0.0%
無回答	23 32.8%	4 3.7%	5 17.9%	14 8.7%	2 12.5%	0 0.0%
有効回答者数	70	111	28	163	16	9

⑭日雇労働者の状況(くらし)

〈単一回答〉	A 町会・住民	B 労働者	C 商店街	D ケースワーカー	E 被保護者	F 簡易宿泊所オーナー
1.良くなった	3 4.3%	12 10.8%	0 0.0%	5 3.1%	0 0.0%	0 0.0%
2.少し良くなった	3 4.3%	7 6.3%	1 3.6%	13 8.0%	0 0.0%	1 11.1%
3.少し悪化	2 2.9%	10 9.0%	5 17.9%	18 9.8%	2 12.5%	5 55.6%
4.悪化した	5 7.1%	30 27.0%	4 14.3%	17 10.4%	2 12.5%	2 22.2%
5.変わらない	7 10.0%	31 27.8%	1 3.6%	36 22.1%	2 12.5%	0 0.0%
6.どちらともいえない	3 4.3%	2 1.8%	0 0.0%	5 3.1%	2 12.5%	1 11.1%
7.わからない	17 24.3%	15 13.5%	10 35.7%	57 35.0%	6 37.5%	0 0.0%
無回答	30 42.8%	4 3.7%	7 24.9%	14 8.5%	2 12.5%	0 0.0%
有効回答者数	70	111	28	163	16	9

⑮野宿生活者の状況(くらし)

〈単一回答〉	A 町会・住民	B 労働者	C 商店街	D ケースワーカー	E 被保護者	F 簡易宿泊所オーナー
1.良くなった	11 15.7%	20 18.0%	4 14.3%	12 7.4%	3 18.8%	1 11.1%
2.少し良くなった	10 14.3%	25 22.5%	3 10.7%	33 20.2%	2 12.5%	0 0.0%
3.少し悪化	1 1.4%	7 6.3%	1 3.6%	7 4.3%	0 0.0%	5 55.6%
4.悪化した	0 0.0%	6 5.4%	2 7.1%	4 2.5%	0 0.0%	0 0.0%
5.変わらない	6 8.6%	23 20.7%	3 10.7%	28 17.2%	0 0.0%	0 0.0%
6.どちらともいえない	3 4.3%	5 4.5%	0 0.0%	9 5.5%	0 0.0%	3 33.3%
7.わからない	10 14.3%	21 18.9%	8 28.6%	56 34.4%	8 50.0%	0 0.0%
無回答	29 41.4%	4 3.7%	7 25.0%	14 8.5%	3 18.7%	0 0.0%
有効回答者数	70	111	28	163	16	9

➤ 「⑬高齢者や生保受給者の状況」は、ケースワーカーと被保護者の評価は「変わらない」が高く、改善されている実感は薄い評価となっている。

➤ 「⑭日雇労働者の状況」は、仕事紹介数も減少しており、労働者自身でも「悪化した」という評価が高くなっている。

➤ 「⑮野宿生活者の状況」は、ほとんどの属性で野宿者の数は減少していることで「良い」傾向の評価が高くなっているが、依然野宿生活者がいることから「悪化」傾向の意見もある。

第4章 今後のまちづくりの方向性の検討にかかる具体化

⑯若者・女性・子育て世帯の住宅・環境について

〈単一回答〉	人前金・住民	日 労働者	0 商店街	D ケースワーカー	三 家族世帯	子 高齢者所オーナー
1.良くなった	1 1.4%	10 9.0%	0 0.0%	3 1.8%	1 6.3%	0 0.0%
2.少し良くなった	7 10.0%	8 7.2%	4 14.3%	26 16.0%	1 6.3%	0 0.0%
3.少し悪化	3 4.3%	3 2.7%	2 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	6 66.7%
4.悪化した	6 8.6%	2 1.8%	3 10.7%	5 3.1%	0 0.0%	1 11.1%
5.変わらない	4 5.7%	21 18.9%	5 17.9%	56 34.4%	1 6.3%	1 11.1%
6.どちらともいえない	2 2.9%	5 4.5%	1 3.6%	12 7.4%	2 12.5%	1 11.1%
7.わからない	13 18.6%	58 52.3%	6 21.4%	45 27.6%	8 50.0%	0 0.0%
無回答	34 48.5%	4 3.6%	7 25.0%	16 9.7%	3 18.6%	0 0.0%
有効回答者数	70	111	26	163	16	9

⑰このまちに暮らす人々が減少した状況について

〈単一回答〉	人前金・住民	日 労働者	C 商店街	D ケースワーカー	三 家族世帯	子 高齢者所オーナー
1.良くなった	1 1.4%	6 5.4%	0 0.0%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%
2.少し良くなった	1 1.4%	4 3.6%	0 0.0%	9 5.5%	2 12.5%	0 0.0%
3.少し悪化	9 12.9%	15 13.5%	6 21.4%	19 11.7%	2 12.5%	6 66.7%
4.悪化した	8 11.4%	30 27.0%	6 21.4%	4 2.5%	0 0.0%	2 22.2%
5.変わらない	6 8.6%	5 4.5%	3 10.7%	21 12.9%	0 0.0%	1 11.1%
6.どちらともいえない	4 5.7%	10 9.0%	1 3.6%	24 14.7%	5 31.3%	0 0.0%
7.わからない	7 10.0%	37 33.3%	5 17.9%	70 42.9%	5 31.3%	0 0.0%
無回答	34 48.5%	4 3.7%	7 25.0%	15 9.2%	2 12.4%	0 0.0%
有効回答者数	70	111	26	163	16	9

⑱外国人旅行者(宿泊者)が増えた状況について

〈単一回答〉	人前金・住民	日 労働者	0 商店街	D ケースワーカー	三 家族世帯	子 高齢者所オーナー
1.良くなった	5 7.1%	45 40.5%	2 7.1%	10 6.1%	4 25.0%	5 55.6%
2.少し良くなった	6 8.6%	17 15.3%	9 32.1%	39 23.9%	2 12.5%	4 44.4%
3.少し悪化	14 20.0%	4 3.6%	1 3.6%	23 14.1%	1 6.3%	0 0.0%
4.悪化した	11 15.7%	9 8.1%	4 14.3%	13 8.0%	1 6.3%	0 0.0%
5.変わらない	4 5.7%	3 2.7%	0 0.0%	5 3.1%	0 0.0%	0 0.0%
6.どちらともいえない	4 5.7%	15 13.5%	5 17.9%	22 13.5%	3 18.8%	0 0.0%
7.わからない	0 0.0%	14 12.6%	1 3.6%	34 20.9%	3 18.8%	0 0.0%
無回答	26 37.2%	4 3.7%	6 21.4%	14 8.5%	2 12.3%	0 0.0%
有効回答者数	70	111	26	163	16	9

- 「⑯若者・女性・子育て世帯の住宅・環境」は「わからない」の評価が高く、変化があらわれていないことがわかる。
- 「⑰このまちに暮らす人々が減少した状況」は「悪化」傾向の評価が高く、人口が減少することに対しての危惧がわかる。
- 「⑱外国人旅行者が増えた状況」は、多くの属性では「良い」傾向の評価だが、町会・住民は「悪化」傾向の評価が高くなっている。

第4章 今後のまちづくりの方向性の検討にかかる具体化

② 外部資本による地域の土地建物買収が増えた事について

（単一回答）	A. 賛成・仕長	B. 賛成	C. 賛成	D. ケースワーカー	E. 賛成	F. 賛成
1. 良くなった	1	1.4%	20	0.0%	5	3.1%
2. 少し良くなった	1	1.4%	7	10.7%	20	12.3%
3. 少し悪化	5	7.1%	2	14.3%	11	6.7%
4. 悪化した	13	18.6%	31	35.7%	12	7.4%
5. 変わらない	3	4.3%	3	0.0%	13	8.0%
6. どちらともいえない	4	5.7%	13	0.0%	21	12.9%
7. わからない	8	11.4%	31	17.9%	65	39.9%
無回答	35	50.1%	4	21.4%	16	9.7%
有効回答者数	70		111	28	163	16

③ 新今宮駅とこの地域とのアクセス（つながり）

（単一回答）	A. 賛成・仕長	B. 賛成	C. 賛成	D. ケースワーカー	E. 賛成	F. 賛成
1. 良くなった	10	14.3%	32	10.7%	6	3.7%
2. 少し良くなった	11	15.7%	7	14.3%	20	12.3%
3. 少し悪化	3	4.3%	0	0.0%	1	0.6%
4. 悪化した	0	0.0%	3	3.6%	3	1.8%
5. 変わらない	5	7.1%	45	35.7%	46	28.2%
6. どちらともいえない	4	5.7%	5	0.0%	18	11.0%
7. わからない	6	8.6%	15	10.7%	53	32.5%
無回答	31	44.3%	4	25.0%	16	9.9%
有効回答者数	70		111	28	163	16

④ 星野リゾートホテルができる事について

（単一回答）	A. 賛成・仕長	B. 賛成	C. 賛成	D. ケースワーカー	E. 賛成	F. 賛成
1. 良くなった	15	21.4%	47	28.6%	23	14.1%
2. 少し良くなった	2	2.9%	7	10.7%	17	10.4%
3. 少し悪化	0	0.0%	1	0.0%	1	0.6%
4. 悪化した	0	0.0%	7	3.6%	1	0.6%
5. 変わらない	5	7.1%	7	7.1%	10	6.1%
6. どちらともいえない	7	10.0%	15	10.7%	38	23.3%
7. わからない	14	20.0%	23	17.9%	55	33.7%
無回答	27	38.6%	4	21.4%	18	11.2%
有効回答者数	70		111	28	163	16

- 「②外部資本による地域の土地建物買収が増えた事」は、外部資本により活性化を感じる一方で、外国資本によるトラブルなどが予想されることから、回答も「良い」「悪い」「どちらの評価もある。
- 「③新今宮駅とこの地域とのアクセス」は、交通利便性が高いことから「良い」傾向の評価が高くなっている。
- 「④星野リゾートホテルができる事」は、全属性で「良い」傾向の評価が高くなっている。

まちの変化について【自由記述】

A. 町会・住民	悪いこと (悪い傾向)	①まちの美化	
		⑩日雇労働	⑪まだ不法投棄がある ・熱い人々が少なくなった ・労働者は単価が低くなって大変だと思う ・食堂が減った ・外国人が増える
B. 労働者	良いこと (良い傾向)	⑫商店街	・外国人が増える
		⑬星野リゾート	
		⑭まちの美化	・想像していたほどごみは捨てられていない
		⑮憩いの場	・憩いの場の充実については、NPOの施設が増えたから
		⑯まちのイメージ	・野良犬が減った
		⑰日雇労働	・日雇労働者の仕事はそこそこある ・人が多いと失業者もでる。減れば、まちの課題がなくなるという意味で良い
	悪いこと (悪い傾向)	⑱外国人旅行者	・外国人旅行者は、地域にお金落としてくれる ・外国人旅行者が増えるのは良い ・星野リゾートができて、お金を落としてもらい、地域が活性化したら良い ・星野リゾートはできれば建てほしい ・星野リゾートができることは、まち全体にとっては良い
		⑲まちの美化	・まちの美化は、労働者の雇用ではなく、住民がすすんでやるべき ・酔っぱらいが少なくなって嬉しい
		⑳まちのイメージ	・防犯、犯罪防止の対策は良くなりすぎ ・泊まろうとしたドヤが増えたので木造は怖い ・喧嘩が多い
		㉑高齢者・生活保護	・薬の売人がいなくなったことがない ・高齢者や被保護者は増えている実感がある ・生活保護費支給のあと、1週間は賑わうが、こうした賑わい方には問題があると思う ・生活保護受給をしている若い人が増えており悪化している
	悪いこと (悪い傾向)	㉒日雇労働	・日雇労働者の仕事が減った ・日雇仕事は減っている
		㉓野宿生活者	・野宿生活者が増えているから悪い ・子育てについて、スマホを見ながら世話する親がいて良くないと感じる。子育て層にアンケートを取って改善すべき ・ここは子育てする場所ではない。「ええ子」に育つ環境と思えない
		㉔子育て世帯	・外国人旅行者の増加に伴ったメリットはない
		㉕外国人旅行者	・外国人旅行者は、周りをみてマナーを守って行動をしてほしい ・ドヤに泊まる外国人が、騒がしく寝られない ・このまちを外国人旅行者に早せるのが駄目かしい ・コンビニに外国人が増えて、買い物に時間かかる

第4章 今後のまちづくりの方向性の検討にかかる具体化

B. 労働者	悪いこと (悪い傾向)	④宿泊施設・民泊	・宿泊するところが少ない ・簡宿が値上げして困る、値上げに伴い給料も上げてほしい ・賃料があがるのは怖い ・違法民泊はダメだ ・商店街の賑わいをつくるのは難しい ・商店街が数み屋ばかりで、料金が高くなっている ・商店街には飲み屋が増えた ・海外からの土地の買収は、とられていてみたいでイヤ ・外部資本で全部外国に買われるのでは ・星野リゾートができることは、労働者が住みにくいまちになる ・星野リゾートホテルができることは心配 ・星野リゾートのようなものをつくるから自分の居場所がなくなる ・外国人旅行者にとっては観光地、労働者にとっては生活の場となっている ・人間が減って、東京の人間が増えた ・外国人相手の民泊が多い ・自然できる場所をもっと充実させないといけない ・外部資本が幼稚園などの施設を作るのであればいいが ・昔のような活性化はしない ・地域が安全になればいい ・駐輪問題についてはもっと力を入れてほしい ・まちの変化は、10年くらい後で労働者も高齢者も減ってから判断したほうがいい ・いまみや小中一貫校は知らないし興味がない ・公園は、ジャンジャン横町の横 ・結核健診に行っている ・小中一貫校だと中学生の遊びを早くにおぼえるのでは ・星野リゾートは、道が狭いし本当にできるのか ・星野リゾートがどういうホテルかわからない ・星野リゾートはどのようなものができるのか気になる
		④商店街	
		④外部資本	
		④星野リゾート	
	現在の状況		
	まちへの要望		
	その他(分類不可)		
C. 商店街	良いこと (良い傾向)	④星野リゾート	・安価な宿泊所が多い中で、2万円くらいで泊まれる上位層がくるホテルがひとつできることによってまちが変わる
	悪いこと (悪い傾向)	④まちのイメージ	・このまちには希望・夢がありません
	まちへの要望		・飲食と消費を増やすべき、ホテル(星野リゾート)ができることによって、人の流れ、店の流れが変わる

第4章 今後のまちづくりの方向性の検討にかかる具体化

D. ケースワーカー	良いこと (良い傾向)	①まちの美化	・まちはきれいになった
	悪いこと (悪い傾向)	①子育て世帯 ②外国人旅行者	・子育てを安心してできる状況とは書えない ・外国人旅行者が多く、うるさい。大きなスーツケースをもって駅にたむろする等、迷惑
		②宿泊施設・民泊	・入居者と民泊利用者とのトラブルがある ・民泊に関する苦情が被保護者からある ・民泊、外国人観光客の増加により以前より住人からマナーに対する苦情をよく聞く
	その他(分類不可)		・星野リゾートホテルは出来ないとします ・5～10年前のあいりん地域を知らないため回答できません
E. 被保護者			
F. 簡易宿所オーナー	良いこと (良い傾向)	①外国人旅行者	・労働者のまちから旅行者の集うまちへ変化した
	悪いこと (悪い傾向)	②外部資本	・日本資本は歓迎する
		②外部資本	・外国、特に中国資本はルールを守らない。中国居酒屋などで問題がある

- ・ 「良いこと(良い傾向)」の意見として、「①まちの美化」や「②星野リゾートホテル」関連の内容が多い。
- ・ 「悪いこと(悪い傾向)」の意見として、「④まちのイメージ」や「③外国人旅行者」「②宿泊施設・民泊」関連の内容が多い。
- 西成特区構想関連の集中的な取り組みをしてきた結果、「違法露店」や「ごみの不法投棄」「違法駐輪」などの治安や環境面では大きな改善が図られてきたことがわかる。
- 観光客の増加や外部資本の影響により、まちの環境が大きく変わりつつある。その中で、属性や各個人の評価が異なることもあるため、住民主体のまちづくりを推進しつつ、取り組みや成果を広く区民や市民に伝えていくことも大切になる。